

44. 元野宿生活者と地域シニアボランティアによる 再野宿化防止活動

グループ名 Homedoor ボードゲーム同好会

代表者 松本 浩美

① 活動の目的

＜生活保護や年金制度を正しく利用できる状態になった野宿生活を脱した 60 代以上の人＞
ギャンブルやアルコールに依存せず自らで居場所をつくり余暇活動を行い、再野宿化を防止する

＜ホームレス問題に関心を寄せている地域シニアボランティア＞
自分の趣味・特技を活かせる場所を創造する。

② 活動概要

1～2 ヶ月に 1 回、Homedoor 事務所にてボードゲーム同好会を実施した。

参加者からは、

「したことないゲームをすることで、発想の転換や頭の体操ができるようになった」

「普段考えないことを考えるきっかけになったと思う」

「日常の思考と違うことを考えられて面白い」

「自分のボケ防止にちょうどいい」

などの感想をいただいている。

また同好会を実施していない日でも、Homedoor 事務所にやってきて「ゲームしよう」とやりはじめるなど自主的に野宿生活を脱した人たちが余暇活動に励む姿も見受けられるようになった。



ボードゲームの様子①



ボードゲームの様子②



ボードゲームの様子③

③ 決算報告書

収 入	
大同生命厚生事業団助成金	100,000 円
支 出	
ボードゲーム (枯山水、カタン、アルゴ)	12,053 円
ボードゲーム (黒ひげ危機一髪)	2,150 円
ボードゲーム (カタルタ)	2,626 円
ボードゲーム (人生ゲーム)	4,600 円
ボードゲーム (カナヤック、ワードバスケット、ガオガオ)	9,760 円
ボードゲーム (ガイスター)	2,800 円
ボードゲーム (ゲームスタジアム、UNO、トランプ)	10,108 円
ボードゲーム (パンダだらけ、将棋盤)	5,097 円
インク代	6,636 円
文具代	6,978 円
椅子・テーブルなど	22,198 円
ゲーム用電池 (充電式)	6,496 円
ゲーム収納用の棚	8,106 円
文具	540 円
	合計 100,148 円
合 計	-148 円

148 円は同好会より補填しました。